



◆ ちょっと気になるはるかぜ学校 人権映画祭のご案内 ◆

日時 12月9日(土) 9時30分開場 10時開演 12時終演
場所 東風公民館大ホール (どなたでもご覧いただけます。)

※オープニングでは、東風小学校児童の皆さんによる合唱
また、東風小学校児童による人権作品展示も行います。

共催：潤南行政区
志登行政区

校庭に東風吹いて

声を出さず悲しみを抱える少女
貧困から問題を起こす少年
彼らと向き合う教師たちの
情熱で〈涙〉は〈希望〉に
変えられるだろうか。
ラストに灯る子どもたちの奇跡！



沢口 靖子 9年ぶりの映画出演 共演：星 由里子・村田 雄浩

この映画は、場面緘黙症の心の悲しみを抱えた少女、貧困から様々な問題を引き起こす少年の絶望と苦しみなど子ども達の困難に寄り添い、子どもと共に生き、子どもへの愛情を貫いた教師と子どもの心をつなぐ感動の物語です。

場面緘黙症(ばめんかんもくしょう)とは…

家では家族と普通に話をしますが、学校や幼稚園などでは全くしゃべらない、しゃべったとしても小声で、ごく限られた相手とだけ話す…という状態になります。

話すことに対する不安や恐怖心が引き起こす心理的な障がいです。

福岡県同和問題啓発強調月間 街頭啓発



7月7日（金）にサニー前原店、マックスバリュ前原店にて福岡県同和問題啓発強調月間の街頭啓発活動を行いました。

前原東中学校人権委員会の生徒さんが「差別を許さない世の中にしましょう」「人権講演会の案内」を呼びかけました。地域の方々も中学生のがんばりに笑顔で応えて「がんばってるね」と声をかけていただき、地域に一体感が生まれました。差別を許さない人権意識の高揚が校区全体に広がっています。

ちょっと気になる はるかぜ学校の報告（7月～9月）

人権講演会（東風小学校、PTAと共催）7月8日（土）

講師 山本 浩之さん・美也子さん

2年前にも人権講演会にお呼びした山本 浩之さん、美也子さんご夫妻をお招きして「あきらめなければ夢はかなう」パラリンピックに参加してと題し、人権について学習した全校児童も参加し、ブラジルの文化や選手村の話、車いす体験と、障がいについての正しい知識を学習しました。

～アンケートより～

車いすマラソンの様子の映像が流れ、結果がわかっていても一生懸命に応援して、次第に声が大きくなる児童の姿に山本さんと心が通じ合って、体育館が一体となったことに感動しました。



人権落語（潤北・浦志東行政区共催）8月5日（土）

講師 山椒家 小粒さん

北九州市より山椒家 小粒さんをお招きし、人権を含めた落語と落語の歴史を学習し、最後は通常の落語でおいに笑っていただきました。

～アンケートより～

笑うというのが、いかに心を健康にするのか、笑顔は周りを幸せにすることを感じました。笑顔を幸せは広がるものだと思います。



防災講座 防災意識を高めよう（泊三行政区）9月2日（土）

講師 益城町役場企画財政課 復興企画係主査 後藤 健介さん

防災週間に合わせて、熊本県益城町より行政と民間の方（企業より復興支援ボランティア）をお招きして地震の状況から現状、復興に向けての計画をお話していただき学習しました。

お話の前には地震の3ヶ月前に熊本の観光地を中心に偶然に撮影された「うつくしいひと」を上映し、義援金22,959円が集まり、皆様の心の温かさと復興への思いが益城町支援に繋がりました。ご支援ありがとうございました。

